

2021 年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象について

日本社会心理学会
会長 岡 隆

2021 年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象について、規程に従い、選考を行いました。研究支援担当常任理事・工藤恵理子氏(東京女子大学)を委員長とし、磯部智加衣氏(千葉大学)、上瀬由美子氏(立正大学)、沼崎誠氏(理事:東京都立大学)、宮本聡介氏(明治学院大学)の各氏を委員とする選考委員会によって審議が行われました。

新型コロナ・ウィルス感染が広がる中の応募は 2 件でしたが、いずれも応募の時点で参加予定学会はオンライン開催が決定しており、旅費が発生しない申請内容となっていました。本制度は規程により、旅費を支援する内容となっており、旅費が発生しない場合は、支援する対象とできないという結論に至りました。

渡航を伴う形での海外学会発表ができないことにより、今年度は本制度による支援が実施できないことに対しては、院生・若手会員の研究支援を補償する別の方法を検討することになりました。